

第1章 市民経済計算の見方

I 市民経済計算とは

市民経済計算は、国民経済計算の基本的な仕組みや考え方に基づき、市という行政区域を単位として、経済活動によって生み出された付加価値（経済活動の成果）を事後的に計測する経済指標です。

1年間に市内で産出された付加価値を生産、分配、支出の3つの異なった面からとらえることにより、市経済の規模、産業構造等の実態を体系的に明らかにしています。

市民経済計算でわかること

- 市経済の規模と経済成長率
- 産業の構造
- 所得水準や分配の状況
- 家計消費や企業の設備投資 など

市民経済計算は何に使えるのか

- 市経済活動・構造の分析
- 経済計画の策定
- 諸施策の評価・分析
- 国、県、他政令市、過去との比較 など

私たちの経済活動は、生産活動を行うことにより、モノやサービスを**生産**して、新たな価値（付加価値）を作り出しています。その生産活動によって生じた付加価値は、生産に参加した人や企業に**分配**されて所得となります。その分配された所得を使って、モノやサービスに対する**支出**（消費・投資）をしています。その消費・投資は、さらに次の生産につながっていきます。経済活動はこのように生産、分配、支出という循環を繰り返しています。これらは、経済活動を異なる面から捉えたものですから、1年間の総額は原則一致し、概念的には「**生産**」＝「**分配**」＝「**支出**」となります。これを「**三面等価の原則**」といいます。

生産 市内総生産

産出額 - 中間投入



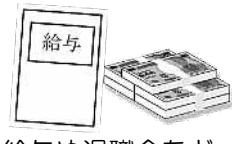
製品・サービスの総額
(出荷額・売上高など)



原材料・光熱水費など

分配 市民所得

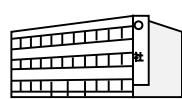
市民雇用者報酬 + 財産所得 + 企業所得



給与や退職金など



利子・配当などの財産運用収入



法人の経常利益など

支出 市内総生産（支出側）

民間最終消費 + 地方政府等最終消費支出

+ 市内総資本形成 + 財貨・サービスの移出入（純）



家計の飲食費、住居費など 政府(市)の消費支出など



住宅建設、企業設備、
公共投資など



市外との取引など

市民・市内概念

「市内」ベースは、市内の経済活動で生み出された付加価値を対象とするもの（属地主義）で、「市民」ベースは市民の経済活動で生み出された付加価値を対象とするもの（属人主義）です。

市民経済計算では、生産系列と支出系列は「市内」ベースで、分配系列は「市民」ベースで推計しています。

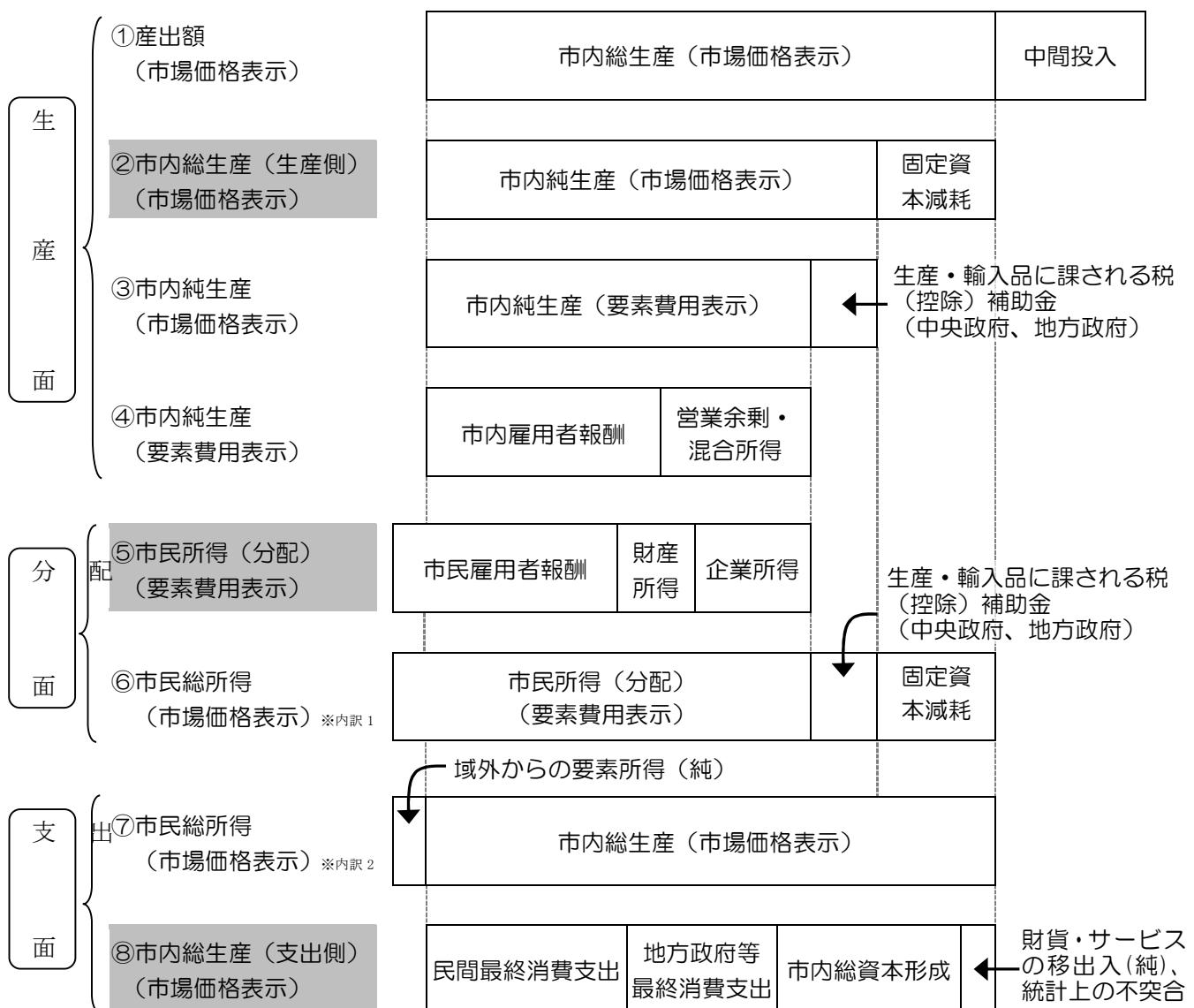
$$\text{市民総所得} = \text{市内総生産（支出側）} + \text{域外からの要素所得（純）}$$

【市民概念】

【市内概念】

【市外からの雇用者報酬など】

II 市民経済計算の概念と相互関係図



は主要系列表の主な指標

$$\begin{array}{c}
 \boxed{\text{②市内総生産(生産側)} \\ (\text{市場価格表示})} = \boxed{\text{①産出額} \\ (\text{市場価格表示})} - \boxed{\text{中間投入}} = \boxed{\text{⑧市内総生産(支出側)} \\ (\text{市場価格表示})}
 \\
 \boxed{\text{③市内純生産} \\ (\text{市場価格表示})} = \boxed{\text{②市内総生産(生産側)} \\ (\text{市場価格表示})} - \boxed{\text{固定資本減耗}}
 \\
 \boxed{\text{④市内純生産} \\ (\text{要素費用表示})} = \boxed{\text{②市内総生産(生産側)} \\ (\text{市場価格表示})} - \boxed{\text{固定資本減耗}} - \boxed{\text{生産・輸入品に課される} \\ \text{税(控除)補助金} \\ (\text{中央政府、地方政府})}
 \\
 \boxed{\text{⑥市民総所得} \\ (\text{市場価格表示})} = \boxed{\text{⑤市民所得(分配)} \\ (\text{要素費用表示})} + \boxed{\text{固定資本減耗}} + \boxed{\text{生産・輸入品に課される} \\ \text{税(控除)補助金} \\ (\text{中央政府、地方政府})}
 \\
 \boxed{\text{⑦市民総所得} \\ (\text{市場価格表示})} = \boxed{\text{②(⑧)市内総生産} \\ (\text{市場価格表示})} + \boxed{\text{域外からの要素所得(純)}}
 \end{array}$$